

健康しが共創会議 シンポジウム開催レポート

WELLNESS SHIGA FES

~自然に健康になれるまちを体験しよう~

テーマ：自然に健康になれるまちづくり

参加団体 28団体

●マルシェ：17団体 ●出展企業：11団体

開催日時 2026年3月1日(日) 11時~15時 会場 ブランチ大津京 レイクスカフェ / SG-Park

株式会社 メディカル・コンシェルジュ作成 (公園を活用した健康づくり活動創出事業受託)

2026年3月1日、ブランチ大津京にて「WELLNESS SHIGA FES」を開催しました。

本イベントは、滋賀県が推進する“自然に健康になれるまちづくり”を体感いただくことを目的に、県民・企業・共創会議参画団体が連携して実施したものです。

当日は、基調講演やシンポジウム、企業出展ブース、マルシェなどを通して、多くの来場者に楽しみながら健康を体験いただきました！

マルシェブース



会場内では、地元食材を活かしたフードや体にやさしい商品が並ぶマルシェを開催しました。物販や体験、洋菓子やお食事メニュー、おむすびなども人気を集め、整体体験や抽選会も実施。会場は終日にぎわいを見せました。“おいしい”“たのしい”“ためになる”がそろった、世代を問わず楽しめるマルシェとなりました。



ティラノサウルスにも来ていただきました！



出店店舗：あいのふく／穴太商店／おむすびcafeれりまの／柏木竹林農園／カーブス大津京／京滋ヤクルト販売株式会社／げんき堂鍼灸整骨院／結喜／生活クラブ生活協同組合／漬物おむすぶニギハヤ／CHOCOLATERIE & CAFE C'EST LA VIE／ハハハライフ／びわこ屋／ベジラブ／メナードフェイシャルサロン大津見世／わっぱ堂／musubi

企業出展ブース

「今日からちょっと意識が変わる！琵琶湖と地域を愛する企業が育む、自然と健康」をテーマに、地域や健康づくりに取り組む企業・団体が集まりました。健康体験や食の提案、親子で楽しめるワークショップなど、多彩なブースが並び、会場はにぎわいを見せました。

合同会社 INCREW

- ・無料の遊び場を開放
エア遊具、トランポリン、おもちゃ



ウォーキングフットボール

- ・年齢・障がいの有無を問わず楽しめる
非接触型スポーツの紹介・PR



株式会社 小寺製作所

- ・彫金ワークショップ、物販、子ども神輿展示



JAグリーン近江

- ・環境配慮米「きらみずき」紹介
・二合（300g）計量チャレンジ



株式会社 濱崎銃砲火薬店

- ・本物の銃を使用した狩猟シュミレーション体験



株式会社 ヒューマンフォーラム

- ・古着を1人3着まで無料で持ち帰れる
「0円マーケット」



BIWA100 (びわひゃく)

- ・琵琶湖を舞台にした
ウォーキングイベントのPR



ラグスタ株式会社

- ・親子で楽しめる「からだチェック」
4種目の体力測定を実施



立命館大学学生団体 BohNo(ポーノ)

- ・規格外野菜を活用した野菜当てゲームとしおりづくり



MLGs推進委員会

- ・セタジミワークショップストラップづくり
- ・MLGsビンゴ「びわ湖ミライアクション」学習ワークショップ



「健康しが」共創会議参画団体

- ・共創会議の取り組み紹介
- ・森永乳業：腸年齢チェック/近畿健康管理センター：脳の認知機能チェック



【マルシェにてご出展いただいた皆様】



【企業・団体ブースにご出展いただいた皆様】

基調講演

— テーマ：ともに創るみんなが健康な未来 —



一般社団法人 エシカル協会
代表理事
末吉 里花 様

● エシカルの原点

末吉様は、『世界ふしぎ発見！』のテレビ取材で訪れたキリマンジャロで、温暖化により氷河が溶けている現実を目の当たりにしたことが原点であると紹介されました。

「地球は一つ。私たちの暮らしは遠くの誰かの生活とつながっている」と実感したことが、活動の出発点になったとのこと。

その後フェアトレードと出会い、“消費の選択が社会を変える力になる”と確信し、2015年にエシカル協会を設立されました。

● エシカルとは

エシカル (ETHICAL) とは「倫理的な」という意味ですが、講演では「人や自然への影響を考える“ものさし”」と表現されました。「おたがいさま」「もったいない」「三方よし」といった、日本にもともとある価値観と親和性の高い考え方であり、特別な行動ではなく日常の延長線上にあるものだと説明されました。

● 見えない消費の裏側

私たちは商品の背景を知らないまま消費していることが多く、その裏側では

- ・ 気候変動の加速
- ・ 大量生産・大量廃棄
- ・ 児童労働や低賃金労働 といった課題が起きていると紹介されました。

特に、2014年のラナ・プラザ崩壊事故では、1,100人以上が犠牲となり、衣料品の大量生産の現実が世界に衝撃を与えました。「まずは“知る”ことが第一歩である」とのメッセージが強調されました。

● サステナビリティとの関係

SDGsの“ウェディングケーキモデル”を用い、環境（土台）→社会 → 経済の順で成り立っていることを解説。

健全な地球環境があってこそ社会や経済が成り立つという考え方が示されました。エシカルは、持続可能な社会に向かうための「行動指針」として語られました。



農林水産省HPより引用

● スポーツ×地域との連携

スポーツの持つ力を活かし、地域や教育と結びつけたサステナブルな取組も紹介されました。楽しさやワクワク感を通じて、持続可能性を身近にする実践が進められているとのこと。

● 私たちにできること

- ・ 地産地消
- ・ フェアトレード商品の選択
- ・ リユースの活用
- ・ 再生可能エネルギーの利用 など、

「顔の見える消費」を意識することが大切であると紹介されました。

また、子どもたちは学校でエシカルを学んでいることに触れ、「大人が一步踏み出すことが未来をつくる」と締めくくられました。

シンポジウム

— テーマ：ともに創るみんなが健康な未来 —

今回のシンポジウムは王 智英様の進行のもと、「ともに創るみんなが健康な未来」をテーマにシンポジウムを実施しました。地域・スポーツ・行政・市民それぞれの視点から、持続可能な地域づくりや社会との関わりについて議論が行われました。



一般社団法人 エシカル協会
代表理事
末吉 里花 様



株式会社滋賀レイクスターズ
代表取締役社長
原 毅人 様



アンドスポーツ株式会社
代表取締役
王 智英 様



MLGs案内人幹事
淡海の川づくりフォーラム実行委員長
北井 香 様



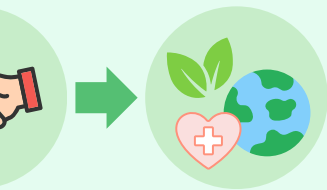
滋賀県健康医療福祉部
健康しが推進課 課長
野原 成彦 様



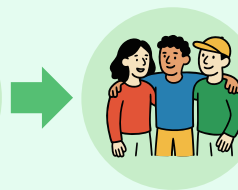
スポーツ
地域活動



楽しさや興味から
参加



社会課題への
関心



行動
つながり



健康な地域社会

- ✓ 多様な主体がつながる場
健康しが共創会議では、企業・行政・市民など多様な主体が関わることで、新たな連携や活動が生まれていることが紹介されました。
- ✓ 地域や自然に触れる体験
MLGsを通じた取組や琵琶湖など地域の自然に触れる体験が、環境や地域への意識の変化につながるとの視点が示されました。
- ✓ スポーツと地域のつながり
滋賀レイクスターズの取組として、清掃活動や食育活動など、スポーツをきっかけに地域活動へ参加する人が広がっていることが紹介されました。
- ✓ 興味や楽しさから社会課題へ
社会課題は問題だけを伝えるのではなく、ストーリーや体験など「楽しさ」を入口に関心を広げることが重要であると共有されました。

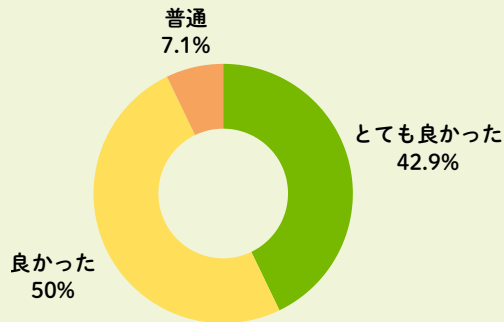
スポーツ・地域・行政・市民といった多様な主体がつながることで、新たな活動や気づきが生まれることが共有されました。楽しさや興味を入口に参加の輪を広げていくことが、「ともに創るみんなが健康な未来」につながることを示されたシンポジウムとなりました。



来場者アンケート結果

イベント時に実施したアンケートでは、多くの来場者から好意的な回答が寄せられました。

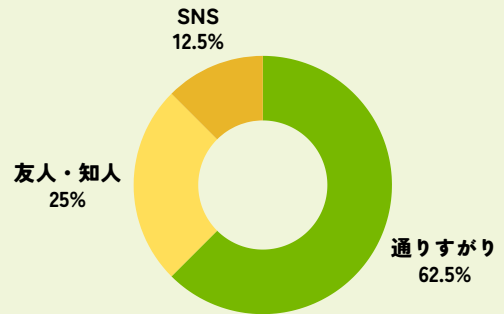
1. イベント満足度



- ・ とても良かった 12名
- ・ 良かった 14名
- ・ 普通 2名

☞ 約93%が「良かった以上」で回答

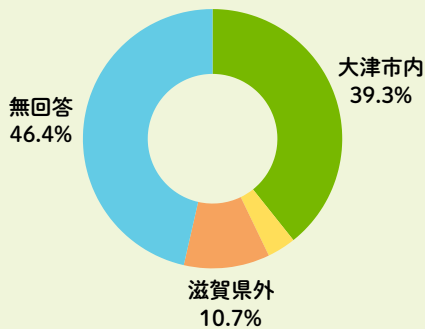
2. このイベントを何で知りましたか？



- ・ 通りすぎり 11名
- ・ 友人・知人 10名
- ・ SNS 4名
- ・ インターネット 2名

☞ 現地通行+口コミが中心でのご参加

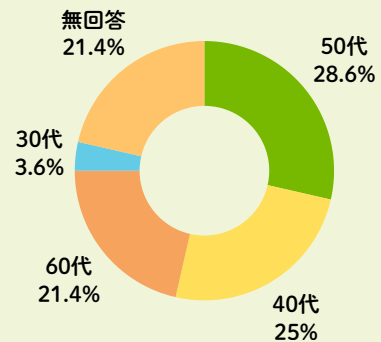
3. お住まい



- ・ 大津市内 11名
- ・ 大津市外 1名
- ・ 滋賀県外 3名
- ・ 無回答 13名

☞ 大津市内を中心に、県外からの来場も！

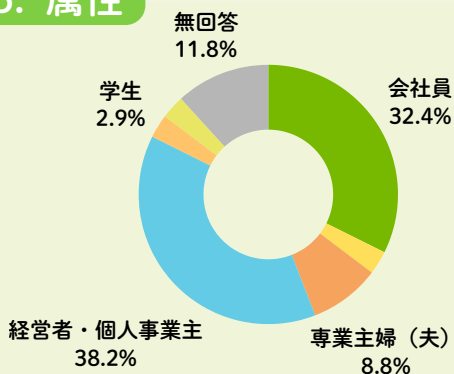
4. 来場者の年代



- ・ 50代 8名
- ・ 40代 7名
- ・ 60代 6名
- ・ 30代 1名
- ・ 無回答 6名

☞ 40代~60代を中心としたご参加

5. 属性



- ・ 会社員 (フルタイム) 11名
- ・ パート・アルバイト 5名
- ・ 専業主婦(夫) 4名
- ・ 経営者・個人事業主 2名
- ・ 学生 1名
- ・ 無職 1名
- ・ 無回答 4名

☞ 会社員を中心に、さまざまな立場の方にご来場